

2020年度

## 事業報告書

自 2020年1月1日

至 2020年12月31日

東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3階  
公益財団法人 岩谷直治記念財団

## 目 次

事業概況と実績	1
1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成	2
2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰	7
3. 人材育成と国際交流への助成	8
4. 主要事業日誌	13
5. 事業報告の附属明細書	16

## <事業概況と実績>

当財団は科学技術に関する研究開発の助成及び奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上及び国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。

その達成のために2020年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

### 1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

岩谷科学技術研究助成 58件 114, 297千円

### 2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

岩谷直治記念賞 2件 6, 099千円

### 3. 自然科学分野における人材育成と国際交流への助成

岩谷国際留学生奨学助成 52, 726千円

2020年度	奨学生	17名(新規)
	奨学生(特別支援)	12名(新規)
2019年度	奨学生	8名(継続)

# 1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

## －岩谷科学技術研究助成－

### 1) 決定

選考委員会推薦の別表－1に記載の58件を、2020年11月開催の定例理事会で承認した後、理事長が助成対象に決定した。

助成金総額は114,297千円。

### 2) 助成対象と推薦

#### (1) 助成対象

「エネルギー・資源の有効利用及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

#### (2) 推薦期間

2020年6月1日～2020年7月31日(2ヶ月間)

#### (3) 推薦依頼先

国立大学	私立大学	公立大学	高専学校	研究所	大学院大学	大学校	合計
133	97	34	59	39	9	2	373

#### (4) 推薦件数

168件(前年度192件)

### 3) 選考経過

#### (1) 第1回選考委員会(9月2日)

本年度の応募総数168件を10名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当たりの審査件数は33～35件となった。

#### (2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

#### (3) 第2回選考委員会(10月23日)

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」を元に審議を行った結果、研究助成候補として別表－1の58件の推薦を決定した。

別表－1：第47回(2020年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	静岡大学 工学部	助教 青山 真大	キャリア高調波と空間高調波をエネルギー源に活用可能な自動可変界磁 PM モータおよびドライブシステムの創生	2,000
2	日本大学 理工学部	助手 秋元 雅翔	DBD-PA バーナーノズルと保炎器 DBD-PA の連動駆動によるバイオガス燃焼制御	2,000
3	筑波大学 システム情報系	助教 浅井 健彦	同調回転慣性質量機構をもつ波力発電装置のオンライン最適化制御	2,000
4	京都先端科学大学 ナノ・マイクロチップ研究所	助教 足立 伸太郎	圧力下電界効果を利用した次世代スピントロニクス材料のバンドエンジニアリング	2,000
5	弘前大学 大学院理工学研究科	教授 阿部 敏之	有機 p-n 接合体系光触媒によるアンモニア分解に基づいた水素生産システムの開発	2,000
6	信州大学 工学部	助教 李 時桓	日射遮蔽ルーバーを用いた高効率太陽熱システムの開発	2,000
7	九州大学 大学院理学研究院	准教授 石橋 純一郎	最新の同位体測定技術を応用した地化学温度計の開発	2,000
8	東京海洋大学 学術研究院	准教授 井田 徹哉	潮流発電に適したリニア発電機の開発	1,990
9	兵庫県立大学 大学院工学研究科	教授 伊藤 省吾	太陽電池と水電解セルを融合させた人工光合成デバイスの開発	2,000
10	広島大学 工学部	助教 宇敷 育男	超臨界流体法によるイオン液体含浸 MOF の革新的創製と CCUS への展開	2,000
11	広島大学 大学院統合生命科学研究科	教授 岡村 好子	バイオディーゼル燃料直接生産に向けた生合成経路の同定と組換え大腸菌の作製	2,000
12	九州大学 大学院工学研究院	助教 小川 祐平	水素により高強度・高延性化を示す革新的ステンレス鋼の開発～固溶強化と双晶変形促進効果の応用～	2,000
13	群馬大学 大学院理工学府	准教授 尾崎 俊二	新規化合物半導体混晶を使用したタンデム構造太陽電池の開発	2,000
14	東北大学 大学院環境科学研究科	助教 郭 海心	塩添加系イオン液体・超臨界 CO <sub>2</sub> による機能性触媒を利用したバイオ化成品の開発	2,000
15	鹿児島大学 学術研究院	教授 片野田 洋	液体酸素を酸化剤に利用する環境負荷の低い小型ハイブリッドロケットの開発	2,000
16	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 勝山 茂	自己保護機能による大気中高温安定性を有するスルテルダイト化合物を用いた熱電発電モジュールの創製	2,000
17	新潟大学 大学院自然科学研究科	教授 金子 隆司	グラフェン型ラダー高分子ポリラジカルの合成と電気・磁気機能開発	2,000

18	東京工業大学 物質理工学院	助教 樋木 啓人	塩基高分子が協働する CO <sub>2</sub> 水素化触媒によるメタノール製造	2,000
19	大島商船高等専門学校 商船学科	教授 川原 秀夫	廃棄減容化後のポリスチレン粉末燃焼におけるバーナ内の未燃率低減に関する実験的解析	1,610
20	鹿児島大学 学術研究院	准教授 神崎 亮	水系電池電解液の溶液化学	1,890
21	龍谷大学 先端理工学部	教授 木村 瞳	IoT デバイス用電源を目指したミスト CVD 成膜による Ga-Sn-O 薄膜熱電素子の研究	2,000
22	東北大学 材料科学高等研究所	助教 工藤 朗	光造形 3D プリントを用いたカーボンマイクロラティス技術の開発と、その二次電池・水素合成触媒への応用	2,000
23	弘前大学 大学院理工学研究科	助教 吳羽 拓真	海洋プラスチック汚染防止を志向した水分解性高分子フィルムの開発と分解ダイナミクス解析	2,000
24	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	助教 ケティ・レオナルド	燃料電池・水蒸気電解用プロトン-電子混合伝導性電極材料の開発	2,000
25	東京都立大学 大学院理学研究科	助教 後藤 陽介	キャリア極性の異方性を利用した非対角熱電材料の開発	2,000
26	岐阜大学 工学部	准教授 坂田 雅文	超高压力下における化学ドープ H <sub>3</sub> S 高温超伝導体の合成	2,000
27	東京電機大学 工学部	教授 佐藤 慶介	産廃シリコン碎粉から創製するシリコンナノ金白糖型粒子表面のナノコーン配列制御による高効率無機有機太陽電池の開発	2,000
28	琉球大学 理学部	助教 島田 幸治郎	沈着した PM2.5 の光分解によって発生する揮発性化合物の放出速度測定の装置開発	1,617
29	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	助教 セリヤンチン・ロマン	CO <sub>2</sub> 分離の高効率化を目指した混合マトリックス膜中の多孔質金属有機構造体の微細化	2,000
30	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教 高橋 麻里	ナノスケールの海島構造を有する銅硫化物系 n 型熱電材料の創製	2,000
31	京都大学 化学研究所	准教授 高谷 光	マイクロ波-光創発による未活用バイオマスの循環資源化	2,000
32	大阪大学 産業科学研究所	准教授 滝澤 忍	機械学習による自動化を志向するファインケミカルズ迅速合成	2,000
33	関西大学 環境都市工学部	教授 田中 俊輔	二次元ナノシートの集積化を利用した高速水素分離膜の開発	2,000
34	工学院大学 工学部	教授 田中 淳弥	エマルジョン燃料液滴の微粒化時期の工学的評価を利用した最適含水率の決定方法の提案	2,000
35	京都大学 大学院工学研究科	准教授 田辺 克明	機能性半導体接合技術による超高効率太陽電池の開発	2,000

3 6	東京大学 大学院工学系研究科	助教 出浦 桃子	窒化物半導体材料のみで構築する半導体デバイス からの排熱有効利用システム	2,000
3 7	東邦大学 理学部	講師 中嶋 善晶	新たな環境計測技術の創出に向けた中赤外光コム 光源技術の開発	2,000
3 8	筑波大学 数理物質系	教授 二瓶 雅之	有機ケージ分子包接型金属酸化物粒子の合成と革 新的エネルギー材料の開発	2,000
3 9	室蘭工業大学 大学院工学研究科	教授 庭山 聰美	水を主溶媒とする対称化合物の実用的な非対称化 反応の開発	2,000
4 0	高知工業高等専門学校 ソーシャルペザイン工学科	教授 秦 隆志	ソノルミネッセンス強度を指標とした新たなウル トラファインバブル定量計測システムの開発	2,000
4 1	広島大学 大学院先進理工系科学 研究科	助教 平尾 岳大	超分子ポリマーを利用したエネルギー変換素子の 開発	2,000
4 2	核融合科学研究所 ヘリカル研究部	教授 平野 直樹	静止型磁気冷凍システムによる液体水素長期貯蔵 技術の開発	2,000
4 3	奈良女子大学 研究院自然科学系	助教 本田 裕樹	光触媒・生体触媒ハイブリッド系による光電気化学 的水素生産	2,000
4 4	山形大学 大学院理工学研究科	教授 増原 陽人	イオン液体による広湿度環境駆動に適応できる電 解質膜材料の開発	2,000
4 5	大阪工業大学 工学部	講師 又吉 秀仁	機械学習による適応的風車制御システムの開発	2,000
4 6	埼玉工業大学 工学部	准教授 松浦 宏昭	レドックスフロー電池の高電流密度化を達成する 含ハロゲン炭素電極の開発	2,000
4 7	新潟大学 工学部	教授 松原 幸治	ソーラー改質反応器の研究開発	2,000
4 8	筑波大学 数理物質系	准教授 丸本 一弘	有機イオントロニクスを利用した次世代高輝度有 機発光デバイスの開発	2,000
4 9	名城大学 理工学部	教授 三宅 克英	草食性陸ガニ由来リグニンバイオマス分解酵素群 の有効利用	2,000
5 0	大阪工業大学 工学部	准教授 村田 理尚	低温未利用熱から発電するための高性能エネルギー 変換材料の開発	2,000
5 1	九州大学 大学院理学研究院	准教授 村山 美乃	チタニア担持金属ナノ粒子を用いたジベンゾチオフェン類の光 酸化・分解反応による常温常圧下での液体燃料から の深度脱硫	1,190
5 2	新潟大学 自然科学系	教授 八木 政行	超低過電圧酸素発生アノードを用いた高効率太陽 光水素生成システムの開発	2,000
5 3	千葉大学 大学院工学研究院	准教授 山崎 泰広	ナノドメイン構造と微視組織制御を活用した高耐 久性・超高遮熱性コーディングの開発	2,000

5 4	名古屋大学 大学院工学研究科	准教授 山田 智明	強誘電体ナノスケール1次元構造がもたらす巨大圧電効果の解明と特性設計指針の確立	2,000
5 5	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	助教 山根 啓輔	太陽電池応用にむけた高エネルギー電子線照射による希薄窒化物混晶の結晶性改質	2,000
5 6	東北大学 金属材料研究所	准教授 横田 有為	ナノ構造の自己組織化を利用した高効率熱電発電素子の開発	2,000
5 7	岐阜大学 工学部	教授 リム リーワ	バイオ燃料研究支援環境低負荷分離マイクロデバイスの構築に関する研究	2,000
5 8	東京理科大学 理学部第一部	准教授 渡辺 量朗	貴ガス水素化物の気相合成プロセスの開発	2,000
		(50音順)	合 計	114,297

2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

—岩谷直治記念賞—

1) 決定

選考委員会推薦の別表－2に記載の2件を2020年11月開催の定例理事会で承認した後、理事長が記念賞に決定した。

副賞金額は、1件につき3,000千円。

2) 選考経過

開発業績の主題は、従来通り「エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で、かつ顕著な産業上の実績が認められている業績」を対象とし、関連学会・協会および関係団体、研究機関、関連企業に6月1日から8月31日にかけ推薦を依頼したところ、6件の推薦があった。

第1回選考委員会(9月2日)において、推薦案件6件を選考委員全員で審査することとし、第2回選考委員会(10月23日)において、「選考審査集計表」(応募案件点数表)に基づき、技術的独創性、産業上の実績等の視点から選考審査を行い、本年度の岩谷直治記念賞候補として2件を推薦することに決定した。

別表－2：第47回(2020年度)岩谷直治記念賞受賞者

所 属	日本製鉄株式会社 技術開発本部 鉄鋼研究所 厚板・形鋼・鋼管研究部
代 表 者	主幹研究員 市川 和利
開発業績	高延性厚鋼板の開発と実用化による原油タンカーの 衝突安全性向上と海洋油漏の防止
推 薦 者	一般社団法人日本鉄鋼協会 会長 小野山 修平

所 属	東芝エネルギーシステムズ株式会社 水素エネルギー事業統括部
代 表 者	マーケティングエグゼクティブ 大田 裕之
開発業績	CO <sub>2</sub> フリーの自立型水素エネルギー供給システム「H2One™」の 開発と実用化
推 薦 者	一般社団法人燃料電池開発情報センター 代表 太田 健一郎

### 3. 人材育成と国際交流への助成

#### －岩谷国際留学生奨学助成－

##### 1) 決定

岩谷国際奨学生を決定した。

新規 17名

新規（特別支援）12名

継続 8名

奨学金総額は52,726千円。

##### 2) 選考経過

2019年12月1日～20日まで20日間に亘り留学生の公募をしたところ  
282名（前年度309名）の応募があった。

書類審査・面接により、別表－3－1記載の17名に絞り込み、理事長が  
2020年度の新規奨学生に決定した。

また、コロナ禍において学業継続の困難が見込まれる留学生への特別支援として、  
書類審査合格者を対象とした面接により、上記とは別途、理事長が、  
別表－3－2記載の新型コロナウイルス対応特別支援奨学生12名を決定した。

なお、学位の取得を目指す別表－3－3記載の2019年度岩谷国際奨学生8名  
については、各指導教官から奨学金支給延長の要請を受け、継続して岩谷国際  
奨学生とした。

##### 3) 交流活動

（1）奨学生間及び奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催した。

###### <第45回（2019年度）奨学生>

第5回例会（8月29日） \*コロナ禍で未開催となっていた最終例会

2019年度の振り返り（オンライン開催）

参加者：奨学生13名

###### <第46回（2020年度）奨学生>

第1回例会（4月23日）

オリエンテーション（オンライン開催）

参加者：奨学生17名

第2回例会(7月3日)

近況報告及びオンラインによる日本のモノづくり見学  
(オンライン開催)

参加者：奨学生17名

第3回例会(9月11日)

奨学生研究発表会(オンライン開催)

参加者：奨学生17名、OB・OG（アドバイザー）3名

第4回例会(11月26日)

個人面談による近況確認、オンライン昼食会(オンライン開催)

参加者：奨学生17名

<第46回(2020年度) 新型コロナウイルス対応特別支援奨学生>

第1回例会(7月6日)

オリエンテーション(オンライン開催)

参加者：奨学生12名

第2回例会(12月11日)

奨学生研究発表会(オンライン開催)

参加者：奨学生12名、OG（アドバイザー）3名

(2) 学位取得後、日本や東アジア・東南アジア地域等で活躍している奨学生  
OB・OGとの交流を図るため、毎年、「友の会」を開催しているが、  
本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

別表－3－1：第46回(2020年度) 岩谷国際奨学生

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
1	亢 健 KANG JIAN 男 27才	中 国	京 都 大 学 エネルギー基礎科学	博2
2	李 婉 LI WAN 女 29才	中 国	鳥 取 大 学 生 産 環 境 科 学	博2
3	金景中 KIM KYOUNGJUNG 男 23才	韓 国	東 京 大 学 機 械 工 学	博1
4	金瑞因 KIM SEOIN 女 24才	韓 国	東 京 農 業 大 学 食 品 香 粧 学	博1
5	林泰佑 LIM TAIYU 男 34才	台 湾	京 都 大 学 農	博4
6	ナドミト バヤルト NADMID BAYART 男 26才	モ ン ゴ ル	名 古 屋 大 学 地 球 環 境 科 学	博2
7	バタバヤル ペルジエ BATBAYAR PELJEE 女 24才	モ ン ゴ ル	東 京 工 業 大 学 地 球 環 境 共 創	博1
8	インノセントイオ アロイシウス ロエ INNOCENTIO ALOYSIUS LOE 男 28才	イ ン ド ネ シ ア	東 京 大 学 精 密 工 学	博1
9	ファイス ウィルダン ムハラット FAIZ WILDAN MUKHALLAD 男 25才	イ ン ド ネ シ ア	富 山 大 学 地 球 科 学	博2
10	スレントーン プウビライ SOULENTHONE PHOUVILAY 女 27才	ラ オ ス	群 馬 大 学 理 工	博3
11	ノール シャヒラ ビンティ マスローン NOOR SHAHIRA BINTI MASROON 女 25才	マ レ ー シ ア	近 畿 大 学 エレクトロニクス系工学	博2
12	ティン カー ウェイ TING KAH WEI 男 26才	マ レ ー シ ア	北 海 道 大 学 総 合 化 学	博1
13	スミヤーノ SU MYAT NOE 女 22才	ミ ャ ン マ 一	宮 崎 大 学 工	博1
14	ティ ウィン HTAY WIN 男 26才	ミ ャ ン マ 一	岐 阜 大 学 環境エネルギーシステム	博3
15	ヴェロニカ マルケズ VERONICA MARQUEZ 女 27才	フィリピン	国 際 大 学 国 際 経 営 学	博1
16	ピトゥモン ハウソンチャラン PITUMON HAEWSUNGCHARERN 女 31才	タ イ	京 都 工 芸 織 維 大 学 デ ザ イ ン 学	博4
17	グエン ティス デン NGUYEN THI DUYEN 女 24才	ベ ト ナ ム	鹿 児 島 大 学 農 林 資 源 科 学	修1

別表－3－2：

第46回(2020年度) 新型コロナウイルス対応特別支援 岩谷国際奨学生

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
1	エスカル エンニワル AISIKAER ANNIWAER	中国 27才	弘前大学 安全システム工学	博1
2	羅煒森 LUO WEISEN	中国 27才	千葉工業大学 工	博1
3	王媛媛 WANG YUANYUAN	中国 29才	千葉大学 基幹工学	博2
4	劉爽 LIU SHUANG	中国 26才	北見工業大学 寒冷地・環境・エネルギー工学	博3
5	李在桓 LEE JAEHWAN	韓国 28才	鳥取大学 生産環境科学	博1
6	禹媛燮 WOO WONSUB	韓国 25才	東京工業大学 機械コ一ス	博1
7	隋遇安 SUI YU-AN	台湾 28才	京都大学 応用生命科学	博1
8	ガンボルト ウーガンハヤル GANBOLD UUGANBAYAR	モンゴル 35才	岩手大学 デザイン・メディア工学	博2
9	ハイダ ビンティ アブ ハハン HAIDA BINTI ABU HAHAN	マレーシア 24才	岐阜大学 材料科学工学	博1
10	ツラターン ハッタラボーン TULATHUM PATTARAPORN	タイ 26才	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域	博1
11	ゴー ミン チュウ NGO MINH CHU	ベトナム 28才	長岡技術科学大学 エネルギー環境工学	博1
12	グエン ティ コック アイン NGUYEN THI NGOC ANH	ベトナム 22才	東京農業大学 醸造	博1

別表－3－3：第45回(2019年度)岩谷国際奨学生 繼続者

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
1	魏書君 WEI SHU JUN 女 28才	中國	東北大學 先進社會環境學	博4
2	江湘吉 JIANG XIANG JI 男 26才	中國	京都大學 生物科學	博3
3	王鴻誠 WANG HUNG CHENG 男 28才	台灣	北海道大學 共生基盤學	博4
4	徐湘綾 HSU HSIANG LING 女 29才	台灣	千葉大學 創成工學	博3
5	メガ リア イスティヤンティ MEGA LIA ISTIYANTI 女 24才	インドネシア	山梨大學 工	博3
6	クアン ティ フー QUAN THI HUONG 女 25才	ベトナム	岩手大學 理工	修2
7	ナン アカリートゥー NANG AKARI HTOO 女 27才	ミャンマー	國際大學 M B A	博2
8	イエ ジン ナイン YE ZIN NAING 男 27才	ミャンマー	佐賀大學 都市工学	修2

#### 4. 主要事業日誌

年 月 日	内 容
2020. 1/20	第46回(2020年度)岩谷国際奨学生候補者書類選考
2/ 5	2019年度(2019年1月1日～2019年12月31日)監査
2/ 6～ 7	第46回(2020年度)岩谷国際奨学生候補者面接選考
2/19	2020年度第1回定例理事会 <ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度(2019年1月1日～2019年12月31日)事業報告書(案) 並びに計算書類(案)承認</li><li>・次期評議員候補者(2020年3月16日～2024年3月)(案)承認</li><li>・理事候補者(補欠1名：2020年3月16日～2021年3月)(案)承認</li><li>・第24期(2020年4月1日～2022年3月31日)研究助成及び表彰に関する選考委員(案)承認</li><li>・第24期(2020年4月1日～2022年3月31日)奨学生選考委員(案)承認</li><li>・第47回(2020年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦要項(案)及び推薦書(案)承認</li><li>・第47回(2020年度)岩谷直治記念賞候補者推薦要項(案)及び推薦書(案)承認</li><li>・2020年度定時評議員会開催(案)承認</li><li>・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他</li></ul>
2/28	第46回(2020年度)岩谷国際奨学生決定(17名)
3/12	2020年度第1回臨時理事会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"><li>・2020年度定時評議員会の開催方法変更</li></ul>
3/16	2020年度定時評議員会（決議・報告の省略） <ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度(2019年1月1日～2019年12月31日)計算書類(案)承認</li><li>・次期評議員候補者(2020年3月16日～2024年3月)(案)選任</li><li>・次期評議員会長選定</li><li>・理事候補者(補欠1名：2020年3月16日～2021年3月)選任</li></ul>
3/25	内閣府に変更届(評議員10名選任及び理事1名補欠選任)提出
3/30	内閣府に事業報告書(2019年度分)提出
3/31	2020年度第2回臨時理事会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"><li>・事務局長選任</li><li>・第24期(2020年4月1日～2022年3月31日)奨学生選考委員一部変更(案)承認</li></ul>

年 月 日	内 容
4/ 6	京橋税務署に「公益法人等の損益計算書等の提出書」(2019年度)提出
4/23	第46回 (2020年度) 岩谷国際奨学生第1回例会
5/25	第47回 (2020年度) 岩谷直治記念賞候補者推薦依頼発送 第47回 (2020年度) 岩谷科学技術研究助成候補者推薦依頼発送 財団ホームページへ記念賞及び研究助成の推薦要項・推薦書を掲載
6/11	2020年度第3回臨時理事会 (決議の省略) ・この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
6/23	第46回 (2020年度) 新型コロナウイルス対応特別支援岩谷国際奨学生候補者面接選考
6/25	第46回 (2020年度) 新型コロナウイルス対応特別支援岩谷国際奨学生決定 (12名)
7/ 3	第46回 (2020年度) 岩谷国際奨学生第2回例会
7/ 6	第46回 (2020年度) 新型コロナウイルス対応特別支援岩谷国際奨学生第1回例会
7/31	岩谷科学技術研究助成推薦締切 (168件)
8/29	第45回(2019年度)岩谷国際奨学生第5回例会
8/31	岩谷直治記念賞推薦締切 (6件)
9/ 1	研究報告書(Vol. 43)発刊 財団機関誌「needs」(Vol. 46)発刊
9/ 2	2020年度第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
9/11	第46回(2020年度)岩谷国際奨学生第3回例会
10/14	理事・監事・評議員による意見交換会
10/23	2020年度第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
11/18	2020年度第2回定例理事会 ・2021年度(2021年1月1日～2021年12月31日)事業計画書(案)承認 ・2021年度(2021年1月1日～2021年12月31日)収支予算書(案)並びに 「資金調達及び設備投資の見込みについて」(案)承認 ・第47回(2020年度)岩谷科学技術研究助成候補58件承認 ・第47回(2020年度)岩谷直治記念賞候補2件承認 ・第24期研究助成及び表彰に関する選考委員 (補欠:1名(2021年4月1日～2022年3月31日)候補者(案)承認 ・特定費用準備資金等取扱規程の導入について(案)承認 ・岩谷直治記念財団設立50周年記念事業実施(案)並びに 特定費用準備資金への積立(案)承認 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他

年 月 日

内 容

- |       |   |
|-------|---|
| 11/25 | 第47回（2020年度）研究助成金受領者及び記念賞受賞者公知・公開           |
| 11/26 | 第46回（2020年度）岩谷国際奨学生第4回例会                    |
| 12/ 1 | 第47回（2021年度）岩谷国際奨学生募集開始                     |
| 12/ 1 | 内閣府に2021年度事業計画書及び収支予算書提出                    |
| 12/11 | 第46回（2020年度）新型コロナウイルス対応特別支援岩谷国際奨学生<br>第2回例会 |
| 12/20 | 第47回（2021年度）岩谷国際奨学生募集締切(241名)               |

以 上

## 事業報告の附属明細書

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。